

令和二年度 菊舎顕彰俳句大会入賞作品

十月十八日 菊舎顕彰会

一字庵賞

大人の部 菊 八五 ふたりして叩く莚や野菊晴

山口市 片山いつ子

学生の部 ハエを追う母とネコの目一体化

豊北小五年 白尾 紗也

山口県知事賞 雑 六三 まだ肩に御座す昨日の秋神輿

下関市 古川 裕三

下関市長賞(大人の部)

天 雑 九一 五分だけ面会叶ふ花野風

下関市 吉村 ひとみ

地 菊 七八 河原菊ほどけば戻る風の癖

周南市 木村 たけま

人 菊 八〇 渚まで雲と歩みて菊舎の忌

下関市 三浦 宣子

五客 雑 九三 かにかくに夏やり過す河馬の鼻

下関市 岡 昌子

雑 一三二 松手入青空のある卒寿かな

下関市 佐間田 スミ子

菊 三七 杖買うて杖を忘るる菊日和

山口市 上田 千鶴子

菊 八八 母の忌や傾き直す菊の鉢

周南市 藤井 富士子

菊 四七 出世街道外れ家内の菊畠

下関市 江尻 伍風

下関市長賞(学生の部)

天 油絵のキャンバスにひび草の花

豊北中三年 山根 さくら

地 初盆におこづかいからおまんじゅう

文関小五年 迫 明玲

人 カナブンもひっくりかえるまつぴるま

豊北小三年 おか こうせい

下関教育長賞

小学生の部 炎天下パスをつないでいくゴール

文関小五年 星山 叶羽

中学生の部 泥多きシューズに少し残る夏

豊北中三年 坂本 龍之介

高校生の部 翡翠や蒼き鏡に飛び込みて

下関北高三年 植村 瑠斗

田耕地区振興協議会長賞

菊 六四 磯菊の風をまともに船だまり

美祢市 野原 洋子

雑 六九 片仮名の新語に溺れそうな夏

下関市 和田 幸子

豊北観光協会会長賞

大人の部 雑 四二 余生てふ俳句の硯洗ひけり

宇部市 為近 正子

学生の部 せみのこえぼくをよんでる木のでっぺん

小串小一年 濱村 心

カモンFM賞 菊 三一 水軍の裔の島なり濃紺菊

山口市 芳西 兌子

選者特選賞

河村正浩選 菊 一三二 針の糸通ししばらく菊の花

下関市 佐間田 スミ子

雑 二四 子供の日難民の子の大きな目

下松市 三野 公子

池田尚文選 菊 五九 岩砕く角島の波だるま菊

山口市 持光 智子

雑 九三 かにかくに夏やり過す河馬の鼻

下関市 岡 昌子

山戸則江選 菊 八一 十二月八日の菊を束ねけり

下関市 三浦 宣子

雑 四六 牛消えて人消えて蕎麦の花清し

下関市 江尻 伍風

岡 昌子選 菊 八五 ふたりして叩く莚や野菊晴

山口市 片山 いつ子

雑 九一 五分だけ面会叶ふ花野風

下関市 吉村 ひとみ

ホテル西長門リゾート賞 雑 一一四 コロナ禍に子等の帰らぬ盆となり

美祢市 野尻 敏子

(ホテル総支配人選)